

表彰歴		有無	表彰の概要	取得年月
	大臣表彰			
	知事・行政機関の局長表彰	○	卓越技能者〇〇県知事表彰：〇〇に係る卓越技能について表彰	H〇年〇月
	全国レベルの業界団体表彰			
	その他	○	優秀技能者〇〇市長表彰：〇〇に係る優秀技能について表彰 〇〇県職業能力開発協会会長表彰：技能検定の推進貢献について表彰	H〇年〇月 H〇年〇月

表彰歴欄

表彰（技能に関連して被推薦者本人が表彰を受けたもののみ記入すること。）を有する場合、その種類ごとの有無欄に「○」を付し、表彰の概要及び取得年月を記入すること（表彰を証する書面の写しを全て添付すること）。

なお、技能に関連する表彰でない、例えば「感謝状」「永年勤続表彰状」等は記入しないこと。

職業訓練指導員免許の取得歴又は技能検定委員の委嘱歴等欄

職業訓練指導員免許の取得歴・技能検定委員の委嘱歴・特許を有する者については、有無欄に「○」を付し、免許・資格等の概要と取得年月を記入すること（免許等を証する書面の写しを全て添付すること）。なお、推薦を受ける技能と直接関係がない技能に関するものは記入しないこと。

職業訓練指導員免許の取得歴又は技能検定委員の委嘱歴等		有無	免許・資格等の概要	取得年月
	職業訓練指導員免許	○	機械科	H〇年〇月
	技能検定委員	○	〇〇県技能検定委員（機械）	H〇年〇月
	特許	○	特許123456「〇〇用装置の考案」	H〇年〇月

大会入賞歴等欄

高度熟練技能者、ものづくりマイスター、全技連マイスターに該当する場合は、認定された年度、業種、職種を記入すること（認定を証する書面の写しを全て添付すること。）。

技能グランプリ入賞歴、技能五輪国際大会入賞歴、技能五輪全国大会入賞歴がある場合は、開催回、参加職種、順位を記入すること（入賞を証する書面の写しを全て添付すること。）。

技能検定欄

該当する場合は、有無欄に「○」を付し、技能士の名称（〇級〇〇技能士）と取得年月を記入すること（技能士証の写しを全て添付すること）。なお、級は一級、二級等のように漢数字で表記し、単一級の場合は「単一級〇〇技能士」と記入すること。

大会入賞歴等		認定年度	業種	職種	技能検定	技能士の名称	取得年月
	高度熟練技能者					一級電気機器組立技能士	H〇年〇月
	ものづくりマイスター	H28		〇〇職種		一級制御盤組立技能士	H〇年〇月
	全技連マイスター						
		開催回	参加職種	順位			
	技能グランプリ						
	技能五輪国際大会入賞歴	〇回	機械職種	〇位			
技能五輪全国大会入賞歴							

記載例：都道府県

調書（2）都道府県

（様式3の1）

都道府県番号	都道府県名	職業部門	職種名(1)	職種名(2)	ふりがな	ぎのう しゅういち
0	〇〇県	5	電子応用機械器具組立工	電子計算機組立工	被推薦者氏名	技能 秀一

都道府県番号欄 ほか
自動で入力される（調書
（3）（4）も同様）。

過去5年の推薦回数欄

被推薦者が、過去5年において卓越した技能者の表彰について厚生労働大臣に推薦された年度を記入するとともに、その推薦回数の合計を記入すること。
なお、被推薦者が過去5年で初めて推薦される場合は計0回と記入すること。

過去5年の推薦回数		推薦者及び推薦理由	所在地又は住所		推薦者及び推薦理由欄 推薦者の住所、電話番号及びその推薦理由を記入すること。推薦者については、都道府県知事名とすること。ただし、空席時等やむをえない場合は職務代行者であることを明記した上で職務代行者名を記入すること。 都道府県知事推薦の1位の者に関しては、他の候補者と比較して最上位とした理由についても併せて記入すること。
令和3	年度		〒	000-0000	
令和2	年度		都道府県	〇〇県	
平成29	年度		市区町村	〇〇市	
	年度			〇〇町〇-〇-〇	
	年度		(推薦者氏名)	TEL 000-000-0000	
計	3 回		〇〇県知事 〇〇 〇〇		
推薦順位等		(推薦理由)			
選考対象者総数	36人	電子分野の試作品製作における「はんだ付け」を始め、試作品の完成されるまでに必要な電子回路技術、組付技能、計測・評価技能などの電子機器組立に関する技能に卓越している。その技能を活かして、宇宙産業機器や自動車用電子制御製品、ITS製品などの多くの試作を担当し、製品化まで導いた。また、幾多の改善による生産性及び品質の向上や、職場安全に寄与するとともに、多くの後進技能者の指導・育成に貢献した。以上のことから本被推薦者は、電子機器組立に関する優れた技能を伝承するなど、多くの実績があり、県1位として推薦する。			
推薦総数	7人				
推薦順位	1位				

推薦順位等欄

- ・選考対象者総数欄・・・被推薦者の推薦に当たり、選考の対象とした全ての員数（被推薦者とならなかった者も含む。）を記入すること。なお、厚生労働大臣への推薦に当たり、管轄の市区町村、商工関係機関又はその他の団体等に推薦を依頼した上で候補者の選定を行っている場合は、当該推薦人数を記載することとし、潜在的人数を記載するなど、過大な人数を計上しないように留意すること。
- ・推薦総数欄・・・被推薦者の全部門における総数を記入すること。
- ・推薦順位欄・・・被推薦者の全部門における推薦順位を記入すること。

卓越した技能の概要欄

P.11 4. 「卓越した技能の概要」欄に記載の各項目を参照の上、記入すること。なお、一葉で記入することが困難な場合は、調書（3）（4）まで記載して差し支えない。

卓越した技能の概要

技能の概要	功績・貢献の概要	後進指導育成の概要	現役性
電子分野の試作品製作に長年従事して培った知識・技能を有しており、特に下記の技能に優れている。 1. 高信頼性を保障する組立技能 電子機器組立の「はんだ付け」技能と、振動を考慮した組立技能を修練し、その経験と研究の中から、信頼性の高い工法や工程を生み出したその技能は、ハイブリッド車や燃料電池車に搭載されている電子制御製品の試作でも基礎となっており、現在は幅広く標準化されている。	1. 宇宙産業機器への貢献 人工衛星搭載用の低振動モータと宇宙環境測定装置の製作において、米国防空宇宙局の要求基準をクリアし、製品化を実現した。この技能は、現在運用中の国際宇宙ステーションの実験モジュール内で使用する真空ポンプ用コントローラの製造にも用いられ、宇宙産業事業の拡大に貢献した。 2. モータースポーツ活動への貢献 エンジン性能の向上を目指したエンジン制御用コンピュータの試作と量産に取り組んだその結果、高性能な電子部品の組付	1. 電気・電子関係の国家検定に実技指導員として活躍し、これまでに〇〇名を合格させ、〇〇県技能競技大会において1位入賞者〇〇名を輩出した。 2. 技能五輪大会出場者の指導を通じて、工場よりこれまでに〇〇人を全国大会に出場させた。大会では1位入賞〇〇名の成績を獲得させると共に〇〇年の国際大会でも1位入賞を果たさせる等、高い指導能力を発揮した。 3. 技能検定補佐員として〇〇年にわたり尽力し、〇〇年から検定委員として、検定（電子機器・配電盤組立	技能五輪選手を指導する後進の指導員や技能五輪選手の指導、現場管理に尽力している また、自ら電子機器組立工として、訓練課題の作製作業に日々従事している。 現在従事している業務内容とその内訳は次のとおりである。 就業時間〇時間 1. 新規課題の検討及び仕様書類の作製（〇時間） 2. 指導方法や訓練内容の検討及び改善（〇時間）

記載例: 団体

調書 (1) 団体

令和4年11月1日 現在

推薦団体名	職業部門番号	5	職種名 (1)	職種名 (2)	氏名・現就業先事業所名の外字	例: 「藤」は草冠が「十」のように離れた字、「刃」は「夕」のように突き出る字、「◎」の字は「○」の字の偏が〜となった字 (フォント「△△」で表示可能) 等
	一般社団法人 ○○会		電子応用機械器具組立工	電子計算機組立工		

推薦団体名欄

推薦団体名を正式名称で入力すること。法人格を有する場合、法人格を省略しないこと。

職業部門番号欄、職種名 (1) (2) 欄

「実施要領 別表」第1部門~第20部門を参考に職種を記入すること。(P.6参照)

氏名・現就業先事業所名の外字欄

被推薦者の氏名・現就業先事業所名に変換できない文字または特定のフォントでしか表示できない文字がある場合、必ずここに記載すること。

ふりがな	ぎのう しゅういち	性別	男
氏名	技能 秀一		
生年月日	昭和31年12月10日	年齢	65
現住所			
〒 000-0000			
都道府県 ○○県			
市区町村 ○○市○○町○丁目○-○			
○○マンション○○号室			
TEL 000-000-0000			

氏名・ふりがな・性別欄

住民票に記載されている字画で氏名を記入し、ふりがなを付け、名字と名前の間に全角スペースを1つ挿入すること。

性別欄は住民票に記載されている性別をプルダウンから選択すること。

生年月日・年齢欄

生年月日を入力すると和暦に変換される。

入力は和暦の場合「年号 (昭和、平成、令和) yy年mm月dd日」、「年号 (S,H,R) yy.mm.dd」 (ドット区切り) または「年号 (S,H,R) yy/mm/dd」 (スラッシュ区切り)、西暦の場合「yyyy/mm/dd」 (スラッシュ区切り) のように入力すること。「年齢」欄は生年月日を正しく入力すると自動で挿入される。

○「S15.10.9」 「S15/6/23」 「1943/2/25」 「昭和39年12月13日」
×「1940.7.7」 「1942.6/18」 「昭15年10月24日」 →エラーになる

現住所欄

被推薦者の現住所および電話番号を省略等せずに記入すること。住民票の住所と実際に居住している居所が異なる場合は、居所を記入すること。

職歴欄

就業先事業所の名称、職務内容、地位及び役職等を順番に記入すること。団体歴、公職歴、家業手伝い、学生時代のアルバイト、推薦を受ける技能と関係の無い職種に従事していた期間は記入しないこと。ただし、いわゆる企業内学校において、推薦を受ける技能と直接関係がある職種の訓練を受けた期間は職歴となる。現役の職歴は最後に「として現在に至る」などと記入すること。

職歴	在職期間 (年月日)		在職年月数
△△電機 (株) 第二製造部○○課に電機工として就職	S49. 4. 1	~ S51. 3. 31	2年0月
○○電機 (株) ○○工場 第一製造部○○課に電子機器組立工として就職	S51. 4. 1	~ H3. 3. 15	14年11月
同 主任	H3. 3. 16	~ H11. 9. 30	8年6月
同 ○○長	H11. 10. 1	~ H26. 3. 31	14年6月
同 ○○長として現在に至る	H26. 4. 1	~ R4. 11. 1	8年7月

事業所全体の従業員数欄

被推薦者も含めた人数を半角数字のみで入力すること。「人」は自動で挿入される。
就業者が被推薦者のみの場合は、0ではなく1を入力すること。

在職期間 (年月日) ・ 在職年月数欄

上記「生年月日」欄と同様に在職期間 (いつからいつまでか) を入力すること。正しく入力すると和暦に変換され、「在職年月数」欄に在職年月数が自動で入力される。

就業先	
事業所名①	○○電機 株式会社
事業所名②	○○工場
事業所全体の従業員数	120人
所在地	
〒 000-0000	
都道府県 ○○県	
市区町村 ○○市○○町○○-○	
TEL 000-000-0000 (内線***	

就業先欄

事業所名①欄には、雇用されている場合は雇用事業所名を、自営している場合は屋号等をそれぞれ省略せず正確に (法人格を省略したりしないこと)、事業所名②欄には、拠点名等 (例: 「○○工場」 「○○支店」 「○○営業所」 など) があれば記載すること。

また「所在地」欄には、郵便番号、所在地及び電話番号を略さずに記入すること。令和4年11月1日以前に就業地が変更となるのが推薦時に確定している場合はカッコ書きで「 (○月○日より変更予定) 」などと明記すること。また、推薦後に就業地が変更となった場合は速やかに連絡すること。

~		
~		
~		
~		
~		
~		
~		
	在職期間 計	
	重複期間を除く在職期間 計	

表彰歴		有無	表彰の概要	取得年月
	大臣表彰			
	知事・行政機関の局長表彰	○	卓越技能者〇〇県知事表彰：〇〇に係る卓越技能について表彰	H〇年〇月
	全国レベルの業界団体表彰			
	その他	○	優秀技能者〇〇市長表彰：〇〇に係る優秀技能について表彰 〇〇県職業能力開発協会会長表彰：技能検定の推進貢献について表彰	H〇年〇月 H〇年〇月

表彰歴欄

表彰（技能に関連して被推薦者本人が表彰を受けたもののみ記入すること。）を有する場合、その種類ごとの有無欄に「○」を付し、表彰の概要及び取得年月を記入すること（表彰を証する書面の写しを全て添付すること）。

なお、技能に関連する表彰でない、例えば「感謝状」「永年勤続表彰状」等は記入しないこと。

職業訓練指導員免許の取得歴又は技能検定委員の委嘱歴等欄

職業訓練指導員免許の取得歴・技能検定委員の委嘱歴・特許を有する者については、有無欄に「○」を付し、免許・資格等の概要と取得年月を記入すること（免許等を証する書面の写しを全て添付すること）。なお、推薦を受ける技能と直接関係がない技能に関するものは記入しないこと。

職業訓練指導員免許の取得歴又は技能検定委員の委嘱歴等		有無	免許・資格等の概要	取得年月
	職業訓練指導員免許	○	機械科	H〇年〇月
	技能検定委員	○	〇〇県技能検定委員（機械）	H〇年〇月
	特許	○	特許123456「〇〇用装置の考案」	H〇年〇月

大会入賞歴等欄

高度熟練技能者、ものづくりマイスター、全技連マイスターに該当する場合は、認定された年度、業種、職種を記入すること（認定を証する書面の写しを全て添付すること）。

技能グランプリ入賞歴、技能五輪国際大会入賞歴、技能五輪全国大会入賞歴がある場合は、開催回、参加職種、順位を記入すること（入賞を証する書面の写しを全て添付すること）。

技能検定欄

該当する場合は、有無欄に「○」を付し、技能士の名称（〇級〇〇技能士）と取得年月を記入すること（技能士証の写しを全て添付すること）。なお、級は一級、二級等のように漢数字で表記し、単一級の場合は「単一級〇〇技能士」と記入すること。

大会入賞歴等		認定年度	業種	職種	技能検定	技能士の名称	取得年月
	高度熟練技能者					一級電気機器組立技能士	H〇年〇月
	ものづくりマイスター	H28		〇〇職種		一級制御盤組立技能士	H〇年〇月
	全技連マイスター						
		開催回	参加職種	順位			
	技能グランプリ						
	技能五輪国際大会入賞歴	〇回	機械職種	〇位			
技能五輪全国大会入賞歴							

記載例:団体

調書(2) 団体

(様式3の2)

推薦団体名	職業部門	職種名(1)	職種名(2)	ふりがな	ぎのう しゅういち
一般社団法人 ○○会	5	電子応用機械器具組立工	電子計算機組立工	被推薦者氏名	技能 秀一

都道府県番号欄 ほか
自動で入力される(調書
(3)(4)も同様)。

過去5年の推薦回数欄

被推薦者が、過去5年において卓越した技能者の表彰について厚生労働大臣に推薦された年度を記入するとともに、その推薦回数の合計を記入すること。
なお、被推薦者が過去5年で初めて推薦される場合は計0回と記入すること。

過去5年の推薦回数		推薦者及び推薦理由	(所在地又は住所)		推薦者及び推薦理由欄 推薦者の住所、電話番号及びその推薦理由を記入すること。推薦者については、推薦団体の代表者氏名とすること。ただし、空席時等やむをえない場合は職務代行者であることを明記した上で職務代行者名を記入すること。
令和3	年度		〒	000-0000	
令和2	年度		都道府県	○○県	
平成29	年度		市区町村	○○市	
	年度			○○町○-○-○ ○○ビル○階 株式会社○○内	
	年度		(推薦団体の代表者氏名)	TEL 000-000-0000	
計	3		回	一般社団法人 ○○会 理事長 ○○ ○○	
推薦順位等		(推薦理由)			
選考対象者総数	13人	電子分野の試作品製作における「はんだ付け」を始め、試作品の完成されるまでに必要な電子回路技術、組付技能、計測・評価技能などの電子機器組立に関する技能に卓越している。その技能を活かして、宇宙産業機器や自動車用電子制御製品、ITS製品などの多くの試作を担当し、製品化まで導いた。また、幾多の改善による生産性及び品質の向上や、職場安全に寄与するとともに、多くの後進技能者の指導・育成に貢献した。以上のことから本被推薦者は、電子機器組立に関する優れた技能を伝承するなど、多くの実績があるため推薦する。			
推薦総数	2人				
推薦順位	1位				

推薦順位等欄

・選考対象者総数欄・・・被推薦者の推薦に当たり、選考の対象とした全ての員数(被推薦者とならなかった者も含む。)を記入すること。なお、厚生労働大臣への推薦に当たり、管轄の商工関係機関又はその他の団体等に推薦を依頼した上で候補者の選定を行っている場合は、当該推薦人数を記載することとし、潜在的人数を記載するなど、過大な人数を計上しないように留意すること。

以下は女性を含む2人を推薦した団体のみ記入すること。

- ・推薦総数欄・・・被推薦者の全部門における総数を記入すること。
- ・推薦順位欄・・・被推薦者の全部門における推薦順位を記入すること。

卓越した技能の概要欄

P.11 4. 「卓越した技能の概要」欄に記載の各項目を参照の上、記入すること。なお、一葉で記入することが困難な場合は、調書(3)(4)まで記載して差し支えない。

卓越した技能の概要			
技能の概要	功績・貢献の概要	後進指導育成の概要	現役性
電子分野の試作品製作に長年従事して培った知識・技能を有しており、特に下記の技能に優れている。 1. 高信頼性を保障する組立技能 電子機器組立の「はんだ付け」技能と、振動を考慮した組立技能を修練し、その経験と研究の中から、信頼性の高い工法や工程を生み出したその技能は、ハイブリッド車や燃料電池車に搭載されている電子制御製品の試作でも基礎となっており、現在は幅広く標準化	1. 宇宙産業機器への貢献 人工衛星搭載用の低振動モータと宇宙環境測定装置の製作において、米国防空宇宙局の要求基準をクリアし、製品化を実現した。この技能は、現在運用中の国際宇宙ステーションの実験モジュール内で使用する真空ポンプ用コントローラの製造にも用いられ、宇宙産業事業の拡大に貢献した。 2. モータースポーツ活動への貢献 エンジン性能の向上を目指したエンジン制御用コンピュータの試作と量産に取り組んだその結果、高性能な電子	1. 電気・電子関係の国家検定に実技指導員として活躍し、これまでに○○名を合格させ、○○県技能競技大会において1位入賞者○○名を輩出した。 2. 技能五輪大会出場者の指導を通じ、工場よりこれまでに○○人を全国大会に出場させた。大会では1位入賞○○名の成績を獲得させると共に○○年の国際大会でも1位入賞を果たさせる等、高い指導能力を発揮した。 3. 技能検定補佐員として○○年にわたり尽力し、○○年から検定	技能五輪選手を指導する後進の指導員や技能五輪選手の指導、現場管理に尽力している。 また、自ら電子機器組立工として、訓練課題の作製作業に日々従事している。 現在従事している業務内容とその内訳は次のとおりである。 就業時間○時間 1. 新規課題の検討及び仕様書類の作製(○時間)

記載例：一般

(様式3の3)

調書（１）一般

令和4年11月1日 現在

職業部門番号	5	職種名（１）	職種名（２）	氏名・現就業先事業所名の外字	例：「藤」は草冠が「十」のように離れた字、「刃」は「刃」のように突き出る字、「◎」の字は「○」の字の偏が〜となった字（フォント「△△」で表示可能）等
		電子応用機械器具組立工	電子計算機組立工		

職業部門番号欄、職種名（１）（２）欄
「実施要領 別表」第1部門～第20部門を参考に職種を記入すること。（P.6参照）

氏名・現就業先事業所名の外字欄
被推薦者の氏名・現就業先事業所名に変換できない文字または特定のフォントでしか表示できない文字がある場合、必ずここに記載すること。

ふりがな	ぎのう しゅういち	性別	男
氏名	技能 秀一		
生年月日	昭和31年12月10日	年齢	65
現住所			
〒 000-0000			
都道府県 ○○県			
市区町村 ○○市○○町○丁目○-○			
○○マンション○○号室			
TEL 000-000-0000			

氏名・ふりがな・性別欄
住民票に記載されている字画で氏名を記入し、ふりがなを付け、名字と名前の間に全角スペースを1つ挿入すること。
性別欄は住民票に記載されている性別をプルダウンから選択すること。

生年月日・年齢欄
生年月日を入力すると和暦に変換される。
入力とは和暦の場合「年号（昭和、平成、令和）yy年mm月dd日」、「年号（S,H,R）yy.mm.dd」（ドット区切り）または「年号（S,H,R）yy/mm/dd」（スラッシュ区切り）、西暦の場合「yyyy/mm/dd」（スラッシュ区切り）のように入力すること。「年齢」欄は生年月日を正しく入力すると自動で挿入される。
○「S15.10.9」「S15/6/23」「1943/2/25」「昭和39年12月13日」
×「1940.7.7」「1942.6/18」「昭15年10月24日」→エラーになる

現住所欄
被推薦者の現住所および電話番号を省略せずに入力すること。住民票の住所と実際に居住している居所が異なる場合は、居所を記入すること。

職歴欄

就業先事業所の名称、職務内容、地位及び役職等を順番に記入すること。団体歴、公職歴、家業手伝い、学生時代のアルバイト、推薦を受ける技能と関係の無い職種に従事していた期間は記入しないこと。ただし、いわゆる企業内学校において、推薦を受ける技能と直接関係がある職種の訓練を受けた期間は職歴となる。現役の職歴は最後に「として現在に至る」などと記入すること。

職歴	在職期間（年月日）		在職年月数
△△電機（株）第二製造部○○課に電機工として就職	S49.4.1	～ S51.3.31	2年0月
○○電機（株）○○工場 第一製造部○○課に電子機器組立工として就職	S51.4.1	～ H3.3.15	14年11月
同 主任	H3.3.16	～ H11.9.30	8年6月
同 ○○長	H11.10.1	～ H26.3.31	14年6月
同 ○長として現在に至る	H26.4.1	～ R4.11.1	8年7月

事業所全体の従業員数欄
被推薦者も含めた人数を半角数字のみで入力すること。「人」は自動で挿入される。
就業者が被推薦者のみの場合は、0ではなく1を入力すること。

在職期間（年月日）・在職年月数欄
上記「生年月日」欄と同様に在職期間（いつからいつまでか）を入力すること。正しく入力すると和暦に変換され、「在職年月数」欄に在職年月数が自動で入力される。

就業先	
事業所名①	○○電機 株式会社
事業所名②	○○工場
事業所全体の従業員数	120人
所在地	
〒	000-0000
都道府県	○○県
市区町村	○○市○○町○○-○
TEL	000-000-0000（内線***）

就業先欄
事業所名①欄には、雇用されている場合は雇用事業所名を、自営している場合は屋号等をそれぞれ省略せず正確に（法人格を省略したりしないこと）、事業所名②欄には、拠点名等（例：「○○工場」「○○支店」「○○営業所」など）があれば記載すること。
また「所在地」欄には、郵便番号、所在地及び電話番号を略さずに入力すること。令和4年11月1日以前に就業地が変更となることが推薦時に確定している場合はカッコ書きで「（○月○日より変更予定）」などと明記すること。また、推薦後に就業地が変更となった場合は速やかに連絡すること。

～		
～		
～		
～		
～		
～		
～		
	在職期間 計	
	重複期間を除く在職期間 計	

表彰歴		有無	表彰の概要	取得年月
	大臣表彰			
	知事・行政機関の局長表彰	○	卓越技能者〇〇県知事表彰：〇〇に係る卓越技能について表彰	H〇年〇月
	全国レベルの業界団体表彰			
	その他	○	優秀技能者〇〇市長表彰：〇〇に係る優秀技能について表彰 〇〇県職業能力開発協会会長表彰：技能検定の推進貢献について表彰	H〇年〇月 H〇年〇月

表彰歴欄

表彰（技能に関連して被推薦者本人が表彰を受けたもののみ記入すること。）を有する場合、その種類ごとの有無欄に「○」を付し、表彰の概要及び取得年月を記入すること（表彰を証する書面の写しを全て添付すること）。

なお、技能に関連する表彰でない、例えば「感謝状」「永年勤続表彰状」等は記入しないこと。

職業訓練指導員免許の取得歴又は技能検定委員の委嘱歴等欄

職業訓練指導員免許の取得歴・技能検定委員の委嘱歴・特許を有する者については、有無欄に「○」を付し、免許・資格等の概要と取得年月を記入すること（免許等を証する書面の写しを全て添付すること）。なお、推薦を受ける技能と直接関係がない技能に関するものは記入しないこと。

職業訓練指導員免許の取得歴又は技能検定委員の委嘱歴等		有無	免許・資格等の概要	取得年月
	職業訓練指導員免許	○	機械科	H〇年〇月
	技能検定委員	○	〇〇県技能検定委員（機械）	H〇年〇月
	特許	○	特許123456「〇〇用装置の考案」	H〇年〇月

大会入賞歴等欄

高度熟練技能者、ものづくりマイスター、全技連マイスターに該当する場合は、認定された年度、業種、職種を記入すること（認定を証する書面の写しを全て添付すること）。

技能グランプリ入賞歴、技能五輪国際大会入賞歴、技能五輪全国大会入賞歴がある場合は、開催回、参加職種、順位を記入すること（入賞を証する書面の写しを全て添付すること）。

技能検定欄

該当する場合は、有無欄に「○」を付し、技能士の名称（〇級〇〇技能士）と取得年月を記入すること（技能士証の写しを全て添付すること）。なお、級は一級、二級等のように漢数字で表記し、単一級の場合は「単一級〇〇技能士」と記入すること。

大会入賞歴等		認定年度	業種	職種	技能検定	技能士の名称	取得年月
	高度熟練技能者					一級電気機器組立技能士	H〇年〇月
	ものづくりマイスター	H28		〇〇職種		一級制御盤組立技能士	H〇年〇月
	全技連マイスター						
		開催回	参加職種	順位			
	技能グランプリ						
	技能五輪国際大会入賞歴	〇回	機械職種	〇位			
技能五輪全国大会入賞歴							

調書（２）一般

(様式 3 の 3)

職業部門	職種名（１）	職種名（２）	ふりがな	ぎのう しゅういち
	5	電子応用機械器具組立工	電子計算機組立工	被推薦者氏名

都道府県番号欄 ほか
自動で入力される（調書
（３）（４）も同様）。

過去 5 年の推薦回数欄

被推薦者が、過去 5 年において卓越した技能者の表彰について厚生労働大臣に推薦された年度を記入するとともに、その推薦回数の合計を記入すること。
なお、被推薦者が過去 5 年で初めて推薦される場合は計 0 回と記入すること。

過去の 5 年の推薦回数	推薦者の所属先	推薦者の所 属先	〇〇〇 〇〇長
令和 3 年度	推薦者氏名	推薦 太郎	TEL 000-000-0000
令和 2 年度	〒	住所：都道府県	住所：市区町村以下
平成 29 年度	000-0000	〇〇県	〇〇市〇〇町〇〇〇-〇-〇 〇〇マンション〇〇号室
年度	賛同者①の所属先	〇〇	
年度	賛同者①氏名	賛同 一郎	TEL 00-0000-0000
計 3 回	〒	住所：都道府県	住所：市区町村以下
	000-0000	〇〇県	〇〇市〇〇町〇〇〇-〇-〇 〇〇アパート〇号室
	賛同者②の所属先	なし	
	賛同者②氏名	同石 照人	TEL 090-0000-0000
	〒	住所：都道府県	住所：市区町村以下
	000-0000	△△県	△△郡〇〇村〇〇〇-〇
	(推薦理由)	電子分野の試作品製作における「はんだ付け」を始め、試作品の完成されるまでに必要な電子回路技術、組付技能、計測・評価技能などの電子機器組立に関する技能に卓越している。その技能を活かして、宇宙産業機器や自動車用電子制御製品、ITS製品などの多くの試作を担当し、製品化まで導いた。また、幾多の改善による生産性及び品質の向上や、職場安全に寄与するとともに、多くの後進技能者の指導・育成に貢献した。以上のことから本被推薦者は、電子機器組立に関する優れた技能を伝承するなど、多くの実績があるため推薦する。	

推薦者および推薦理由欄
推薦者、賛同者①および賛同者②の住所、電話番号及びその推薦理由を記入すること。ただし、推薦者、被推薦者及び 2 人の賛同者は互いに二親等以内（配偶者を含む。）の親族関係になく、かつ、推薦者および 2 人の賛同者は推薦日時点で満 20 歳以上であること。

卓越した技能の概要欄

P.11 4. 「卓越した技能の概要」欄に記載の各項目を参照の上、記入すること。なお、一葉で記入することが困難な場合は、調書（３）（４）まで記載して差し支えない。

卓越した技能の概要			
技能の概要	功績・貢献の概要	後進指導育成の概要	現役性
電子分野の試作品製作に長年従事して培った知識・技能を有しており、特に下記の技能に優れている。 1. 高信頼性を保障する組立技能 電子機器組立の「はんだ付け」	1. 宇宙産業機器への貢献 人工衛星搭載用の低振動モータと宇宙環境測定装置の製作において、米国防空宇宙局の要求基準をクリアし、製品化を実現した。この技能は、現在運用中の国際宇宙ステーションの実験モジュール内で使用する真空ポンプ用	1. 電気・電子関係の国家検定に実技指導員として活躍し、これまでに〇〇名を合格させ、〇〇県技能競技大会において 1 位入賞者〇〇名を輩出した。 2. 技能五輪大会出場者の指導を通じ、工場よりこれまでに〇〇人	技能五輪選手を指導する後進の指導員や技能五輪選手の指導、現場管理に尽力している。 また、自ら電子機器組立工として、訓練課題の製作作業に日々従事している。

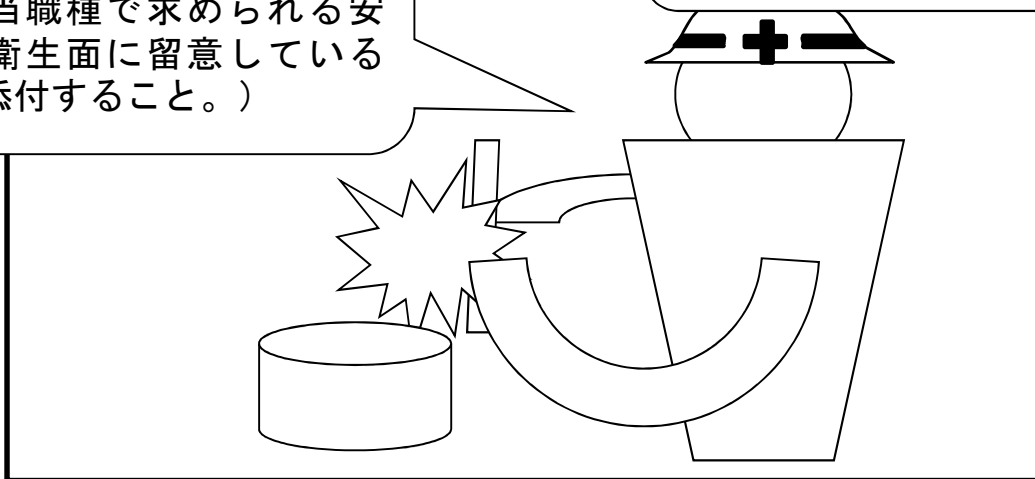
(様式4)

職業部門	第5部門	被推薦者氏名	技能 秀一	撮影年月日	令和3年11月3日
------	------	--------	-------	-------	-----------

写真添付欄

卓越した技能を説明するための写真を添付すること。(通常、該当職種で求められる安全面や衛生面に留意している写真を添付すること。)

直近1年以内(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)の作業風景写真を必ず1枚以上添付すること。



写真説明

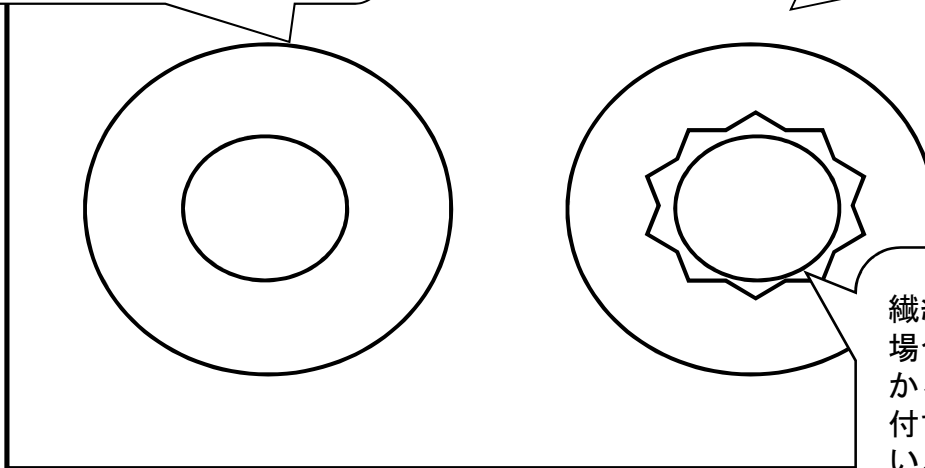
金型の加工作業。被推薦者は長年の知見と経験を駆使し、1000分の1mmオーダーの精度で加工を行うことができる優れた技能を有している。

職業部門	第5部門	被推薦者氏名	技能 秀一	撮影年月日	平成28年5月
------	------	--------	-------	-------	---------

写真添付欄

作品や部品の説明(卓越した技能を要する部分など)があると分かりやすい。

最終的な製品や部品を並べると分かりやすい。



繊細さがポイントの場合、該当部分が分かる鮮明な写真を添付すると分かりやすい。

写真説明

写真の金型は〇〇機械において、重要な部品である。左が通常の金型。右が左の金型に被推薦者が卓越した技能を発揮して加工した金型であり、〇〇機械の機能性を大幅に向上することに貢献した。

必ず記載すること。

(様式5)

専門用語集 (例)

用語	ふりがな	内 容
<ul style="list-style-type: none"> 卓越した技能者の表彰 	<ul style="list-style-type: none"> たくえつしたぎのうし やのひょうしょう 	<ul style="list-style-type: none"> 卓越した技能者の表彰制度は、厚生労働大臣が我が国の最高水準にある優れた技能者を表彰することにより、技能労働尊重の気運を高め、技能者の地位及び技能水準の向上を図るとともに、青少年が誇りを持って技能者になろうとする社会的基盤を築こうとするものである。
<ul style="list-style-type: none"> ○○○ 	<ul style="list-style-type: none"> △△△△ 	<ul style="list-style-type: none"> ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。
<ul style="list-style-type: none"> □□ 	<ul style="list-style-type: none"> △△△△△ 	<ul style="list-style-type: none"> ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

※必要に応じ画像や図表を添付してもよい。ただし、本ファイルを含む推薦書類の合計サイズが被推薦者1人につき指定された容量以内となるよう、適宜トリミング部分の削除や不鮮明にならない範囲での画像圧縮等を行うこと。

※提出書類中に解説を要する専門用語が1つも無い場合は「無し」と記入し提出すること。ただし、その場合は本当に解説が必要な用語が1つも無いかよく確認すること。